知床森林センター広報紙

知床の森から

SHIRETOKO.FC

平成24年度イベント始まる!!

平成２４年７月　第１３８号

北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東番外地（国設知床野営場内）
電話 0152-24-3466　FAX 0152-24-3477
ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html

第113･114回森林レクリエーションin知床
「樹木医と歩く春の森と羅臼こんぶの加工体験～知床の森と海のつながり～」実施結果

6月6日(水)と9日(土)の両日、樹木医の鈴木順策氏による森林の解説を聞きながら春の知床の原生的な森林散策を楽しむとともに、豊かな海の産物である昆布の加工体験を行うイベントを開催しました。

「木は何となく見るのではなく、しっかり観察して、生命を感じてパワーをもらってください。」などと熱く語る樹木医は、専門的な見識と独自のユーモアを交えて森林における物質循環などの解説を行い、笑いの絶えない散策となりました。途中にある融雪期のみ現れる「ポンホロ沼」では、新緑が萌える原生的な森林帯の上に覗く羅臼岳と、それを沼面に逆さに写し出した神秘的な光景が広がっていました。

また、羅臼漁業協同組合のご協力による「おつまみ昆布」のカットと袋詰め体験の際には、体験だけでなく羅臼昆布の旨さを引き出すための「あんじょう」作業の話など大変興味深い話もありました。地道な作業を積み重ねて良いモノを作り上げていく点は、森づくりや森林保護活動と通じるものがあるのではないでしょうか。

美味しい海産物の加工体験を通じて、それを背後で支えている知床の豊かな生態系を育む森林について考えるきっかけとなれば幸いです。

〔参加者／6日：21名、9日：22名〕

知床永久の森林づくり協議会との共催イベントを実施しました

まるごと体験!?エゾシカ対策!!～巨木とのふれあいから考える。知床の森のこれからを～

6月23日(土)、知床の森林生態系に対して大きな影響を及ぼしているエゾシカに関連する様々な体験を通して、森林保護活動の必要性やエゾシカの資源としての有効活用について学ぶイベントを開催しました。

当日は、東京農業大学オホーツク実学センター長の黒瀧秀久氏(生物産業学部教授)による「知床の森林資源を地域経済にどう活かすか」をテーマとした講義、樹皮食害を防止するためのネット巻き体験、エゾシカ有効利用事業を行っている(株)知床エゾシカファーム見学、エゾシカ不嗜好のため繁茂するようになったハンゴンソウを用いた草木染め体験(※)を行いました。駆け足の進行にはなりましたが、参加者からはエゾシカ有効活用に関する質問が多くあり、所期の目的は多少なりとも達成できたように感じました。

現在様々な機関等によって必死の対策がとられているエゾシカ個体数調整ですが、有効活用への理解が広まればその追い風になり、ひいては未来の知床の森を護ることに繋がるはずです。本イベントを通して、少しでも多くの方々に森林保護活動の必要性やエゾシカの資源としての有効活用に対する理解が広がり、そして深まっていけば幸いです。

※雨天による代替プログラム。当初はツリーイング(ロープワークによる木登り)を予定。

今年度第2弾ロングランイベント終了

森の素材をすき込む紙すき体験

開催期間：5月24日(木)～7月1日(日)

以前から興味があったという方や自分で準備した葉を利用したいという方、さらにはエゾシカの糞を混ぜて紙を作りたいのでやり方を覚えたいという方など、期間中様々な方に体験していただきました。

みなさん自分のポストカードの出来映えに満足！サクラの色で染めた色が綺麗なことや、押し葉のすき込み方の絶妙さなどから「人にあげるのがもったいない」などという声が聞かれました。

紙すき体験は樹木そのものを扱うものではありませんが、身近にある「紙」の加工を通じて建築用材ではない木(原料材)の利用について考えるきっかけとなったのではないでしょうか。

大学生がエゾシカの樹皮食害防止のネット巻きを体験!!

7月7日(土)、東京農業大学オホーツクキャンパスの学生等11名が「オホーツク学」体験実習プログラムとして、エゾシカによる樹皮食害防止ネット巻き体験を行いました。

はじめに当センター施設内にて当センターの業務内容を紹介した後、現地に向かい、イチイ林木遺伝資源保存林にて同林内に設置された防鹿柵や国有林野事業として行っているエゾシカ対策を紹介しました。その後ネット巻き作業に移り、手順の説明後2班に分かれてイチイ、キハダを中心に各班6～7本程度ネットを巻きました。学生からは「エゾシカの被害が多いのを現地に来て改めて実感した」などの声が聞かれ、真剣に取り組んでいる様子でした。この体験を通じ、エゾシカの影響を受けた知床の森の現状や森林保護活動の必要性などを感じ取ってくれたのではないかと思います。

今年度も自動撮影カメラによる野生動物の生態等の調査を実施します

今年度の自動撮影調査は6月と9月を予定していますが、このたび6月の調査が終了しました。

本調査は、平成20年よりエゾシカによる食害実態や、その他野生動物の森林利用状況及び生態を観察するため、森林内に赤外線センサーによる自動撮影カメラを設置し撮影を行うものです。

今回撮影されたネガの現像はもう少し先になりそうですが、現像が仕上がり次第当センターのホームページや広報紙を通じてお知らせしていきたいと思いますので楽しみにお待ちください。

地域行事への参画

第27回2012オホーツク「木」のフェスティバル

5月18日(金)～20日(日)の3日間に渡り同フェスティバルに出展しました。

内容はパネル展示の他、エゾシカによる樹皮食害を受けたイチイを利用した「木」ーホルダー作りで、子供から大人まで様々な方に体験していただきました。小さな子供はノコギリ使いの加減がつかめず切断に時間がかかり肩で息をしている場面もありましたが、苦労して切り落とした際にはちょっとした達成感を感じられた様子でした。

こうした体験を通じて、多少なりとも当センターの取り組みを知っていただけると同時に、木や森林への関心を持っていただければ幸いです。

今回の同フェスティバルへの来場者数は、昨年を約4，000人上回る46，073人とのことです(同実行委員会まとめ)。

第51回知床開き

初出展!!

6月16日(土)、17日(日)と羅臼町で開催された同祭りに出展しました。当センターとして初めての出展です。

ウトロに所在する当センターはどうしても羅臼町内の方々にはなじみが薄いのではないか？との思いから、現在当センターで行っている活動をできるだけたくさん知ってもらおう!!とのコンセプトに立って、木工作体験(カスタネット作り)のほか当センターで展示している木のポンホロ沼を持ち込むなど、木質との触れ合いを前面に出す内容としました。

年齢や国籍を問わず様々な方の体験があり、初出展としてはなかなか好評だったように感じました。

平成24年度斜里町植樹祭

5月26日、斜里町と網走南部森林管理署が主催となる植樹祭が町内峰浜の町有林で開催されました。共催となっている当センターからは3名が出席しました。

小雨が降る生憎の天気でしたが、峰浜自然愛護少年団や町民など約70名が参加し、用意した300本のアカエゾマツの苗木をスコップやクワを使って一本一本丁寧に植えていました。

参加された方々には、今回の経験をきっかけとして今後も知床の森林について興味をもっていただけることを願っています。

展示内容を更新しました

当センターの展示施設において、しれとこ植物画同好会の方々からお借りした植物画や、天井のレールに設置した知床の原生的な森林などのパネル、羅臼町内で行われた知床開きで子供に人気だった木の魚釣りを設置するなど、展示物を随時更新しています。今後も昆虫の標本や、知床の山･樹木･花の写真展示、子供向けの木のおもちゃやパズルの設置なども予定していますので、ぜひ足をお運びください。

悪天候時でも…

知床自然愛護少年団

5月27日(日)、地元知床自然愛護少年団の一行が木工作体験のため来館しました。生憎の雨天のため、屋外活動の予定を変更しての来館です。

端材等を利用したクラフトを製作して知床を訪れた方への啓発活動のため配布するとのことでした。当センターの利用が初めてでない団員も多く、勝手知ったるといった様子で様々な作品を作り上げていました。

ウトロ小学校親子レク

7月7日(土)、地元ウトロ小中学校の小学2年生の児童と保護者等が木工作体験のため当センターに来館しました。小雨がちで不安定な空模様のため当初海辺での活動を予定していたものが変更となっての来館です。

子供たちにとっては屋外活動が中止になって残念だったのではないか？と若干心配していましたが、同級生とおしゃべりしながら、あるいは保護者と協力しながら作品を仕上げている姿を見ると、木工作もなかなか楽しんでもらえた様子に見えました。

最後に記念写真を撮って解散となりました。

知床は今

6月の中旬頃まで、日中の最高気温が一けた前後の日もあり底冷えする日が多い知床でしたが、6月下旬からは20℃を超える暖かい日が増えてきました。7月に入ると暑い日もあり、木々の緑も濃く、セミの声も聞くようになり知床にもようやく夏が来た！という今日この頃です。

さて、私事で恐縮ですが赴任して3ヶ月余りが過ぎました。知床に来ての感想ですが、知床連山の眺望など自然の雄大さはもちろんですが、印象深いのはエゾシカの多さとヒグマとの遭遇頻度です。エゾシカは宿舎廻りやウトロの街中でも春先はよく見かけました。エゾシカは皆さんもご存知とは思いますが、近年の頭数増加による農作物や森林における樹木･植生被害が顕著です。また、ヒグマはさすが世界遺産知床、遭遇頻度は群を抜いています。こういった野生生物と人間との共存、特にエゾシカについては適正な頭数管理などの必要性について改めて感じさせられている次第です。

夏本番を迎え、隣の国設知床野営場も利用者が増えてきて、段々とにぎやかになってきました。当センターにおいても、夏休み中などご家族連れなどで楽しめるイベントを用意しております。知床にお越しの際は、是非「知床森林センター」に足をお運びください。（タ）

ボランティア活動施設から

最近は暖かい日が続き、隣接の国設知床野営場もにぎわってきました。それに伴い知床ボランティア活動施設の来館者数も次第に増えてきています。とくに道外からの観光目的の方々や野営場利用の方々の来館が目立っています。そのような方々にぜひ利用していただきたいのが図書コーナーです。

このコーナーでは知床や、森林･林業に関する図書などを多数用意していますので、時間に余裕がありましたら是非これらをご覧いただいて知床の自然環境や、動植物の予備知識をつけていただくとさらに有意義な旅を楽しめるのではないでしょうか。

このほか、北海道森林管理局や当センターの業務に関する資料も用意していますので、来館の機会があれば是非その機会に当センターの活動に対する理解も深めていただければ幸いです。（オ）

8～9月のイベントのお知らせ

詳しくは知床森林センターHPかお電話でご確認下さい。

実施月日	イベント名･内容	場所・定員	申し込み期間等
８月１日(水)	作って、焼いて、食べて、学ぶ 知床の森 デイキャンプ	知床森林センター 定員20名（先着）	電話予約受付中!!
９月８日(土)	知床で森づくり 植樹体験(予定)	羅臼町 定員20名程度	8月上旬～ (HPにてお知らせします)

その他のお知らせ

8/26　第9回知床しゃり楽市･楽座(斜里町)にブース出展します。
9/15･16　第41回漁り火まつり(羅臼町)にブース出展します。
9/23　第33回しれとこ産業まつり(斜里町)にブース出展します。

次回は平成24年9月中旬の発行予定です。

☆ 知床森林センターホームページ「ブログ・知床の四季」では旬な知床情報をお届けしています！
☆ ライブカメラではオホーツク海に沈む夕日や知床連山の様子を見られます(下記URLからアクセスできます)。
→ http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html

この広報紙は道産間伐材を使用しています。